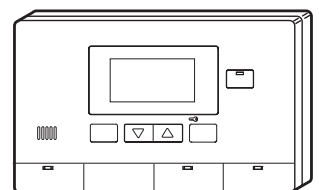
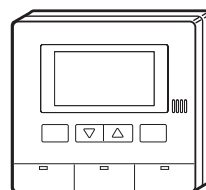


ヒートポンプ給湯機用リモコン

コミュニケーション リモコンセット	ボイス リモコンセット	増設リモコン	床暖房リモコン
HE-RQF4W HE-RSF4W HE-RQF5W HE-RQF6W HE-RQF7W HE-RSF7W HE-RXF7W	HE-RQV4W HE-RSV4W HE-RQV7W HE-RSV7W HE-RXV7W	HE-RQV4Z HE-RQV5Z HE-RQV6Z HE-RQV7Z	HE-RU1



* 工事される方へのお願い

- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって、指定された工事を行ってください。
- 貯湯タンク側の接続は、ヒートポンプ給湯機の工事説明書をご参照ください。
- 増設リモコンの設置の場合は工事説明書の台所・増設リモコンの取付方法 (9ページ) から工事を行ってください。
- 床暖房リモコンの設置の場合は、工事説明書の床暖房リモコンの取付方法 (14ページ) をご参照ください。

も く じ

	ページ
安全上のご注意	2
付属部品	3
浴室リモコンの取付方法	4
台所・増設リモコンの取付方法	9
床暖房リモコンの取付方法	14
HAシステムとの接続をする場合	14
工事完了後の確認	15
お客様への説明	15

工事される方へ…

⇒このリモコンを正しく安全にご使用いただくために、この工事説明書に基づいて設置してください。条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は、保証の対象外となります。

お客様へ…

⇒本製品は一般家庭用の製品のため、業務用には使用しないでください。
著しくリモコンの寿命が縮まります。

安全上のご注意

必ずお守りください

● 施工される人への危害・物的損害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



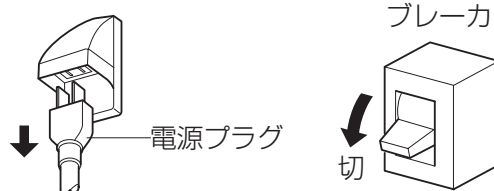
この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

注意

工事は、電源プラグを抜く、またはブレーカを「切」にしてから行う



感電の原因となります。



お願い

- 壁に穴をあけるとき、大きくあけすぎると固定できなくなるので、注意する（PYプラグ用の下穴は使用されるPYプラグに合わせる）
- リモコン取付工事に必要のないねじは絶対に締め付けたり、ゆるめたりしない
- 壁に貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して、取付位置を決める
- ケーブル線は当社別売品の2心ケーブル線を使用する
- ケーブル線をコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収め、ケーブルに傷がつかないようにする
- メタルラス張りなどの壁を貫通する場合は、メタルラスと金属電線管が電氣的に接続しないようにする

安全上のご注意

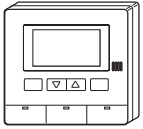
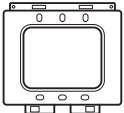
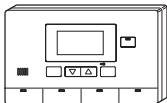
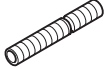
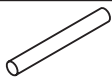
必ずお守りください

お願い

- ケーブル線の延長がそれぞれ25 m以内になるように配線工事を行う
- コミュニケーションリモコンは、設置場所に注意する
通話時にハウリング（「キーン」という音）を起こすことがあります
 - 浴室リモコンと台所リモコンを同一の壁をはさんで表と裏に取り付けない
 - 浴室の扉を閉めても、話し声が直接聞こえる場所では、ハウリングを起こすことがあります
通話音量を小さくするか、台所リモコンを離れた場所に設置する
- パイプシャフト内に機器の電気配線、リモコン用配線を行う場合には電気設備技術基準に準じた防爆工事を行う
- 次の法、基準に従って設置する
 - 電気設備技術基準
 - 内線規定
- 壁の厚さが70～220 mmの範囲では、同梱されている空気抜きパイプにより調整できます。
壁の厚さが220～335 mmの範囲では、別売品の厚壁用空気抜きパイプを利用する（浴室リモコンの場合）
- 取付壁厚が70 mm以下の場合は、壁と化粧カバーとの間に木などスペーサを入れる（浴室リモコンの場合）
- ケーブル線は、動かないようにステップルなどで固定する（台所・増設・床暖房リモコンの場合）
- ケーブル線は直接熱の影響を受けないところに配線する（台所・増設・床暖房リモコンの場合）
- 本リモコンのねじ止めには、電気ドライバー、インパクトドライバー等は使用しない
リモコンが変形し、不具合が発生する恐れがあります
- 設置工事で発生した鉄粉が、リモコン内蔵のスピーカーに付着すると、スピーカーの音が出なくなる恐れがあります。

付属部品

※イラストは異なる場合があります。

部品名	形 状
台所リモコン 増設リモコン 床暖房リモコン 	 リモコン取付板  PYプラグ  小ねじ(大)  木ねじ  小ねじ(小)  Y端子
浴室リモコン 	 パッキン  PYプラグ  木ねじ  空気抜きパイプ  化粧カバー用 パッキン  化粧カバー  ナット  チューブ  ケッションバンド

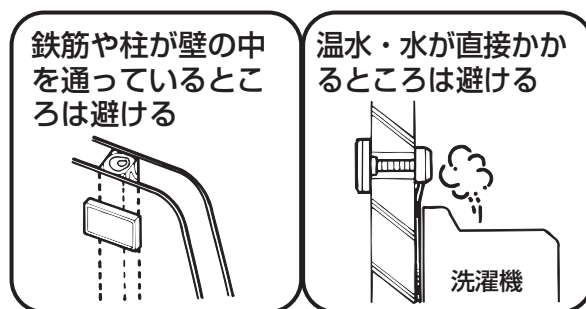
浴室リモコンの取付方法

〔お願い〕

- 必ず電源を切ってから行ってください。
- ケーブル線は貯湯タンク側の各々の接続部に間違えないように接続してください。
- 貯湯タンク側の電気工事、リモコン工事終了後、電源電線・リモコンケーブルをかみ込まないように注意して、前板を取り付けてください。

取付場所を選定する

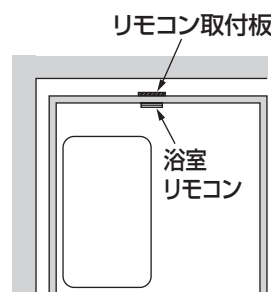
- お客様と相談して使いやすい場所を選びます。
- 壁の内部にある柱や鉄筋に貫通穴が引っ掛からない場所を選びます。（リモコンのケーブル線が接続できなくなります。）
- リモコンに温水・水が直接かかりにくい場所を選びます。（リモコンに水が入ると故障の原因となります。）
- 段差のない場所を選びます。



ユニットバスへの取り付け

1. リモコン取付板をはる

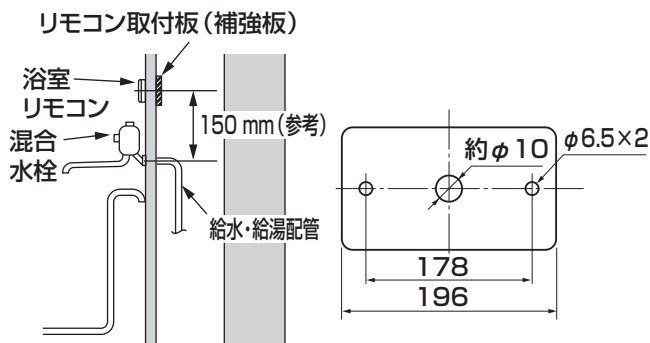
- ユニットバスの搬入の前にリモコン取付板（補強板）をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けます。



2. ユニットバスとリモコン取付板の穴あけ

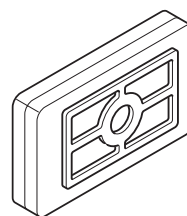
- ユニットバスとリモコン取付板同心で、ケーブル線を通すためのφ10程度の穴をあけます。（混合水栓の上、約150 mm）

※ リモコン取付穴φ6.5×2はリモコン取付板には貫通しないようにしてください。



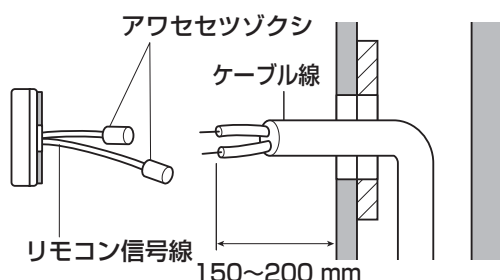
3. 浴室リモコンにパッキンを貼る

- パッキンの片面の紙をはがし、穴窓を合わせて傾かないよう貼り付けます。



4. リモコン信号線を出す

- ユニットバスを設置するときには、ケーブル線を穴から150～200 mm出しておきます。
- このとき、ケーブル線に付いているアワセセツゾクシを切断しておきます。

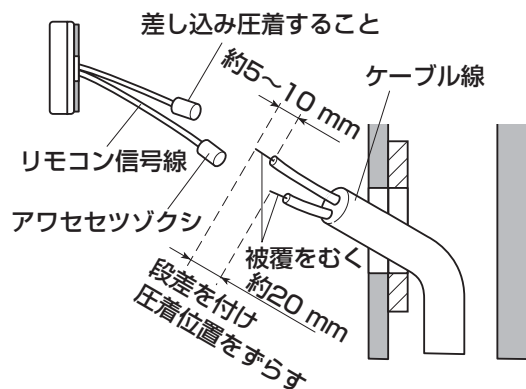


5. 浴室リモコンとケーブル線を接続する

- ケーブル線の被覆を約5～10 mm出し、浴室リモコン側のリモコン信号線先端のアワセセツゾクシに差し込み、圧着して接続します。

【お願い】

- ケーブル線がエッジ部に触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。



6. 浴室リモコンを壁に固定する

- ① 取り付ける壁面を乾いた布などでよくふいて、水気、油分をふき取ります。

- ② ケースカバーを取り外し、ねじ穴と取付穴の位置が合っていることを確認します。

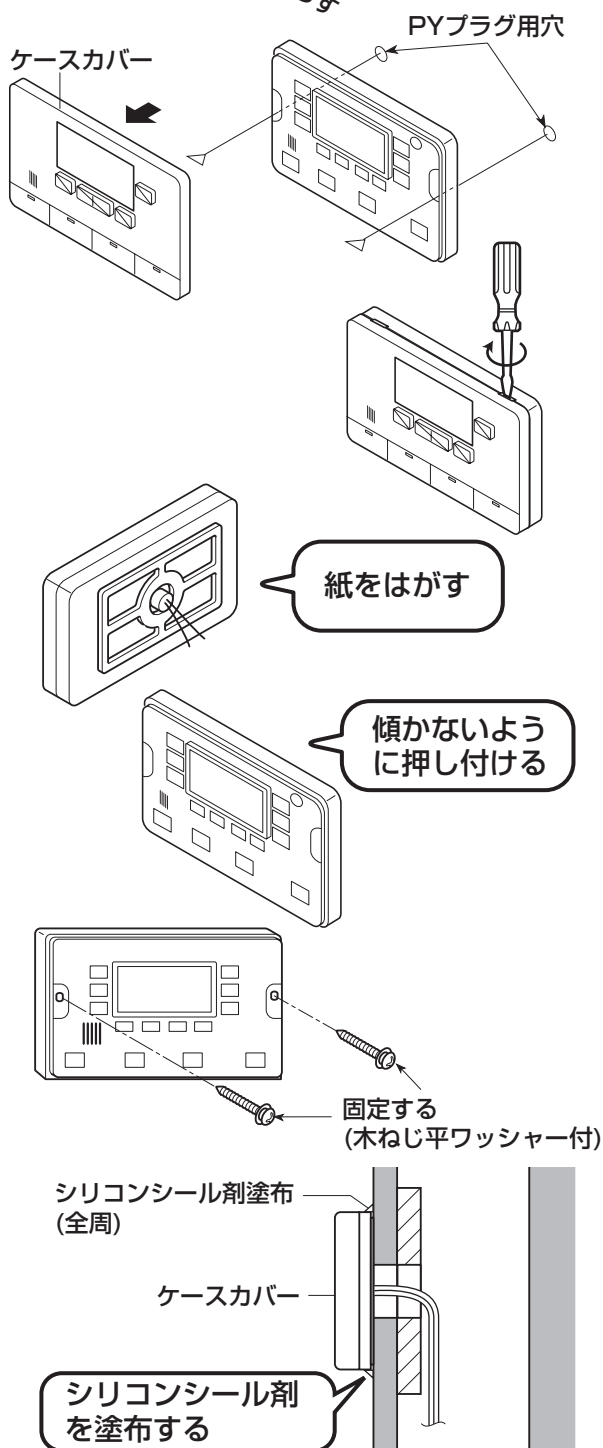
※ マイナスドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。

- ③ 裏面のパッキンにはり付けている紙をはがします。

- ④ 浴室リモコンが傾かないように押し付けます。
(仮固定)

- ⑤ 付属品のねじで浴室リモコンを固定します。

※ ねじの締め付けに、電動ドライバーは使用しないでください。



7. ケースカバーを取り付ける

8. シリコンシーラ剤を塗布する

- 浴室リモコンと壁の接着面全周にシリコンシーラ剤を塗布します。

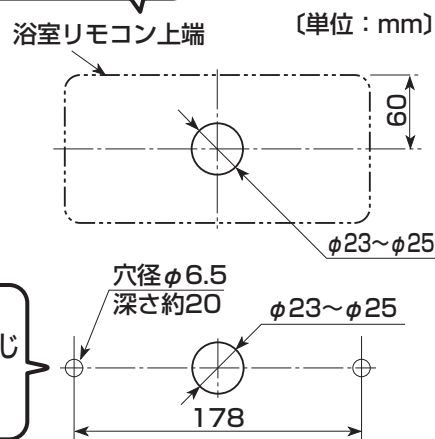
浴室リモコンの取付方法

一般浴室への取り付け

1. 壁に貫通穴をあける

- $\phi 23 \sim \phi 25$ の貫通穴を壁に対して直角にあけます。
- 取付寸法を間違わないように貫通穴をあけてください。
- 貫通穴を大きく ($\phi 30$ 以上) あけると浴室リモコンの固定ができなくなります。
- 浴室リモコンをより確実に取り付けるときは、PYプラグ用の穴をあけて木ねじで固定してください。

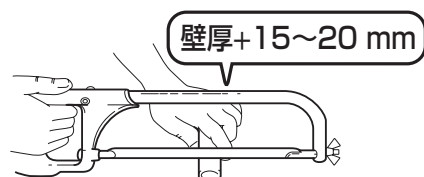
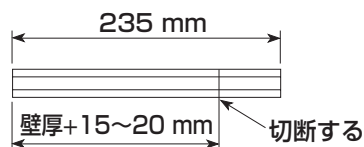
壁に対して直角にあける



PYプラグ用の
穴をあけて木ねじ
で固定すると
より確実です

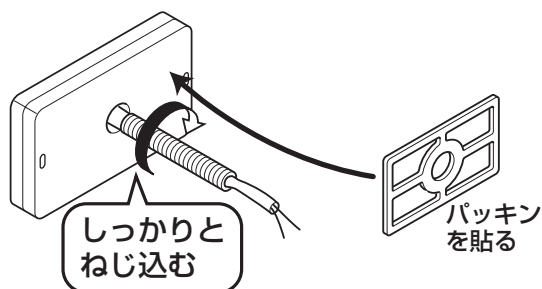
2. 空気抜きパイプを切断する

- 壁厚プラス (15~20 mm) の長さで切断します。
- 壁厚が220~335 mmの場合は、別売品の厚壁用空気抜きパイプ (品番: AD-3722-1) を使用してください。



3. 浴室リモコンにパッキンを貼る

- パッキンの片面の紙をはがし、穴窓を合わせて傾かないよう貼り付けます。



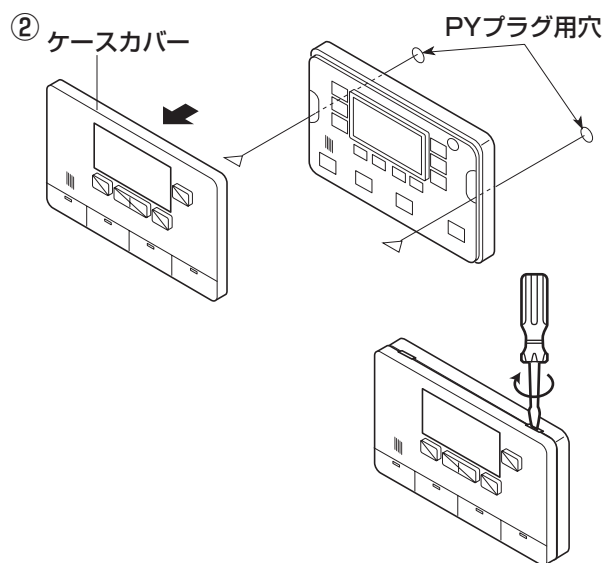
4. 浴室リモコンに空気抜きパイプを接続する

- 空気抜きパイプにリモコン信号線を通して、しっかりねじ込みます。

5. 浴室リモコンを壁に固定する

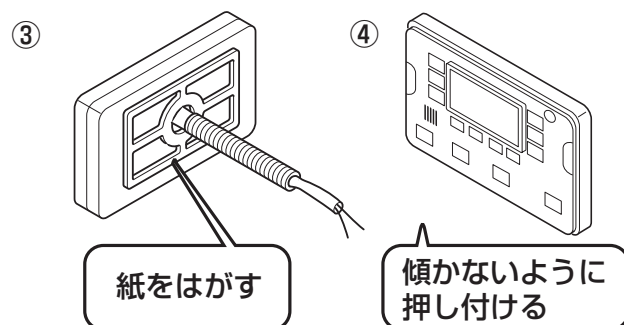
- ① 取り付ける壁面を乾いた布などでよくふいて、水気、油分をふき取ります。
- ② ケースカバーを取り外し、ねじ穴とPYプラグの穴位置が合っていることを確認します。

※ マイナスドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。



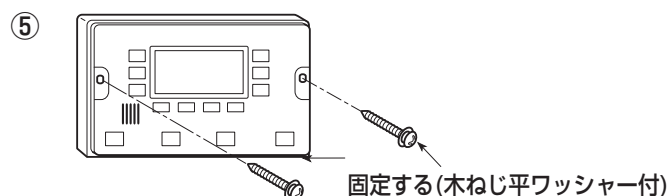
- ③ 裏面のパッキンに、はり付けている紙をはがします。

- ④ 浴室リモコンが傾かないよう押し付けます。
(仮固定)



- ⑤ 付属品の木ねじでPYプラグの穴位置に浴室リモコンを固定します。

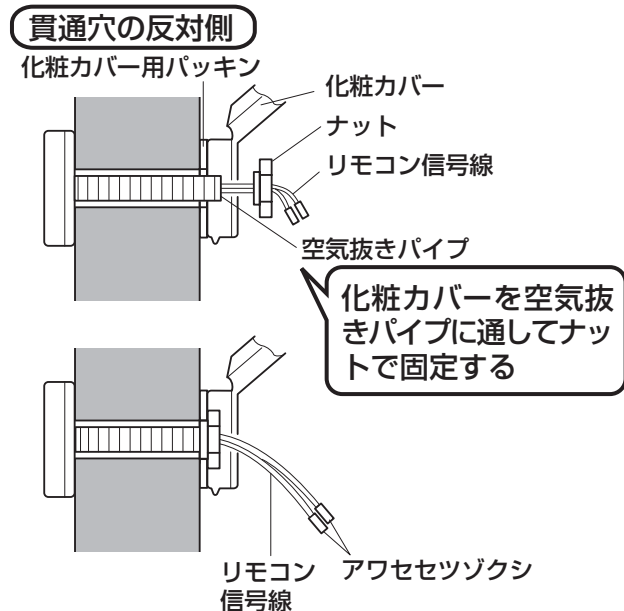
※ ねじの締め付けに、電動ドライバーは使用しないでください。



6. ケースカバーを取り付ける

7. 化粧カバーを取り付ける

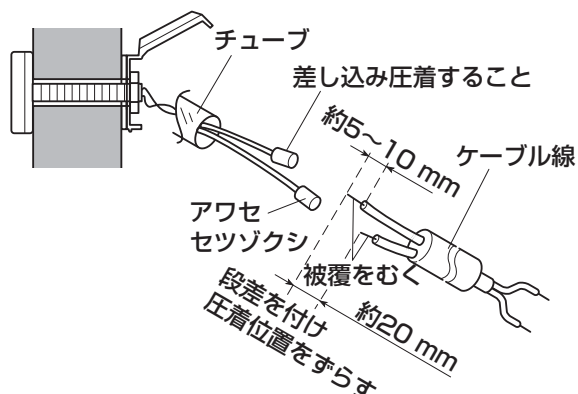
- 化粧カバーの取り付け面にあらかじめ化粧カバー用パッキンを貼り付けます。
- リモコン信号線と空気抜きパイプを化粧カバーの穴に通してナットをねじ込んで固定します。



浴室リモコンの取付方法

8. 浴室リモコンとリモコン信号線を接続する

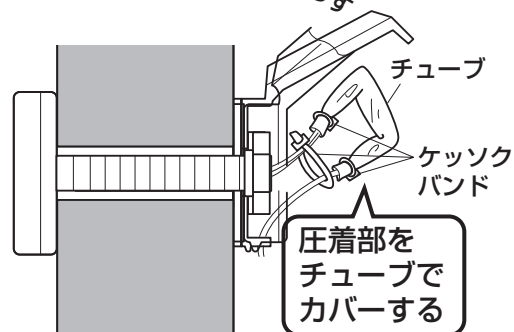
- ① リモコン信号線2本をチューブに入れてから、ケーブル線の被覆を5～10 mm程度むいて、浴室リモコン側のアワセセツゾクシに差し込み、圧着して接続します。



- ② チューブで圧着部をカバーし、ケツソクバンドで結束します。

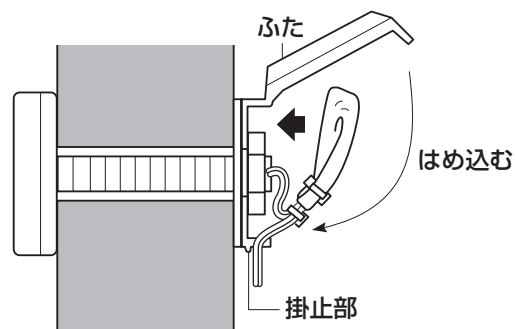
【お願い】

- ケーブル線がエッジ部に触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。



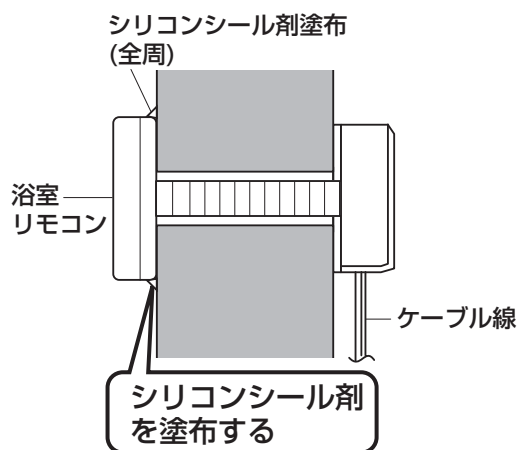
9. 化粧カバーを取り付ける

- 化粧カバーのふたは掛止部にはめ込んで固定します。



10. シリコンシール剤を塗布する

- 浴室リモコンと壁の接着面全周にシリコンシール剤を塗布します。



■ 工事完了後の確認

- 浴室リモコンが確実に固定されているか確認します。

台所・増設リモコンの取付方法

■ ケーブル線露出配線の場合

【お願い】

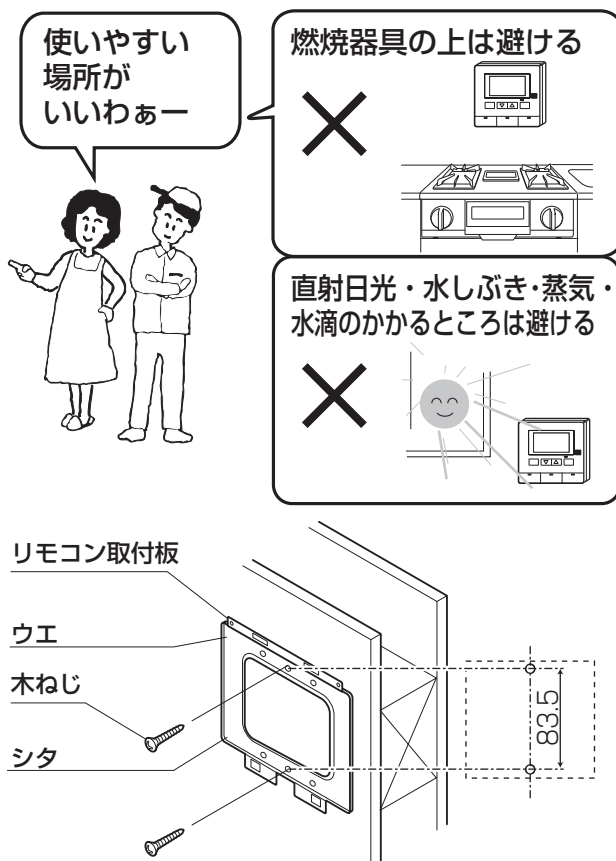
- 必ず電源を切ってから行ってください。
- ケーブル線は貯湯タンク側の各々の接続部に間違えないように接続してください。

1. 取付場所を選定する

- ① お客様と相談して使いやすい場所を選びます。
- ② ガステーブルなど燃焼器具の上以外の場所を選びます。
- ③ 直射日光・水しぶき・蒸気・水滴がかからない場所を選びます。
- ④ コミュニケーションリモコンの場合、浴室リモコンと同一の壁には、取り付けないでください。浴室の扉を閉めても、話し声が直接聞こえる場所では、ハウリングを起こすことがあります。通話音量を小さくするか、台所リモコンを離れた場所に設置してください。

2. リモコン取付板を壁に固定する

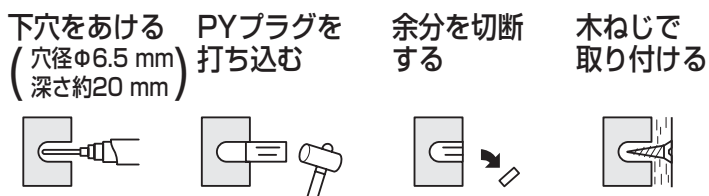
- 壁の丈夫な個所（柱等）にリモコン固定板を木ねじ（2本）で壁に取り付けます。（リモコン取付板の「ウエ」「シタ」を確認）



- 必ず付属の皿ねじを使用してください。付属の皿ねじ以外（なべねじ等）を使用すると、内部の電子部品にあたり、故障の原因になります。



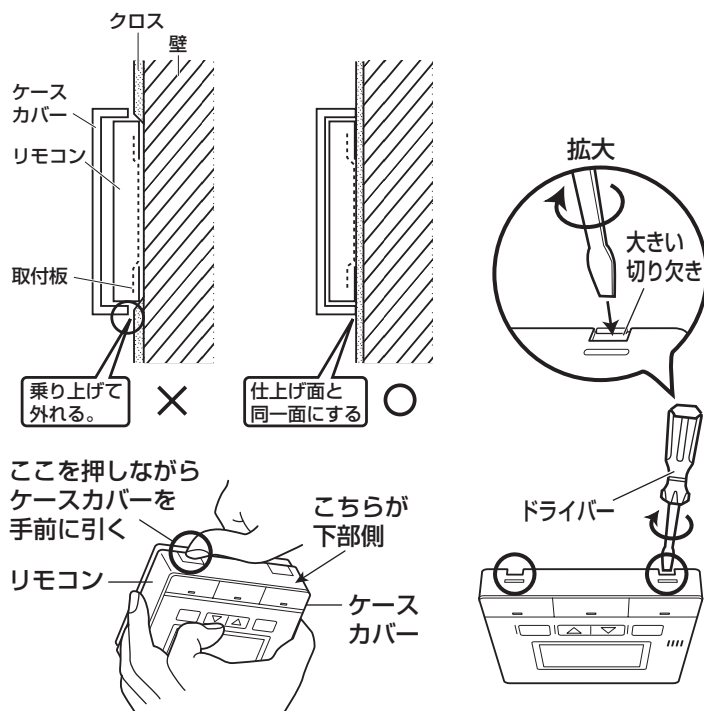
- タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のときは、PYプラグを壁に打ち込み、木ねじで取り付けます。



- ※ 取付板が壁の仕上げ面と同一面となるようにしてください。
- ※ 壁の化粧クロスが厚い場合、ケースカバーが乗り上げて外れやすくなることがあります。（取付板が壁面より沈み込む程、ねじを強く締め付けしないでください。）

3. リモコンよりケースカバーを外す

- ケースカバーは、はめ込み式になっています
- ※ リモコンの下部側を上にして行ってください。
- ※ 取り外しにくい場合は、マイナスドライバーを図のように使用するとケースカバーの取り外しができます。

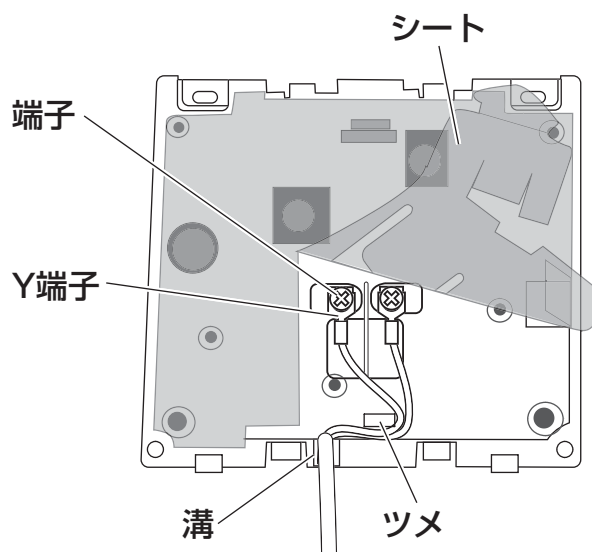


台所・増設リモコンの取付方法

4. リモコン本体にケーブル線を接続する

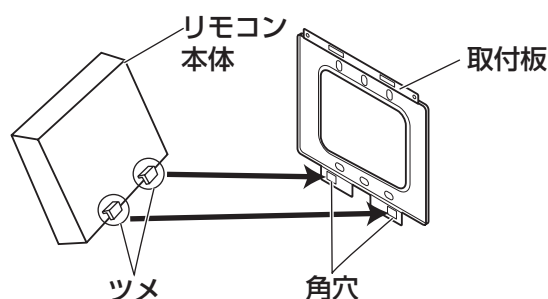
- ケーブル線は無極性ですので、＋－はありません。
- 端子の接続時に、無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- Y端子のねじを締めつけ時、Y端子が回転して基板の部品に当たらないよう注意してください。
- 電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴が破損するおそれがありますので、使用しないでください。

- ① ケーブル線の被覆をむく。
 - ② ケーブル線の先端にY端子をカシメ接続します。
 - ③ リモコン裏面の透明なシートをめくり、Y端子をリモコン端子に接続し、再びシートで端子をおおう。
- ※シートはリモコンより取り外さないでください。
- ※Y端子は必ず下向きに取り付けてください。
- ※端子やケーブル線がシートでおおわれていないとショートが発生し故障の原因となります。
- ④ ケーブル線をリモコン裏面のツメにひっかけて、溝より引き出します。



5. リモコン本体を取り付ける

- ① リモコン下部のツメをリモコン取付板下部の角穴に引っかける。
- ※ケーブル線がかみ込まないようにしてください。

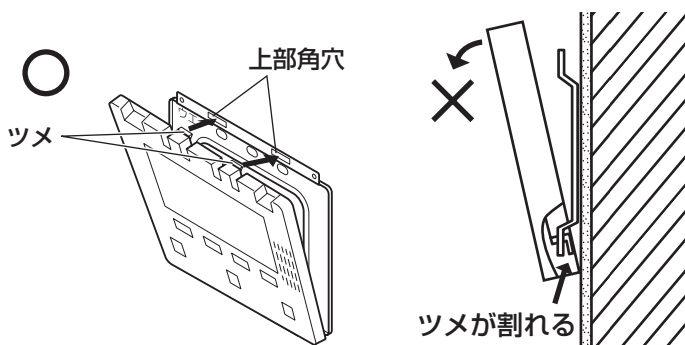


- ② リモコン上部のツメをリモコン取付板上部の角穴に「カチッ」と音がしてツメが嵌合するまで押し込む

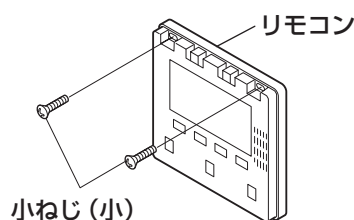
※無理に金具に取り付けしないでください。
(ツメが割れる恐れがあります。)

※金具に取り付けにくい場合は、再度取付板を壁から取り外してから取り付けてください。

※ツメをかけた状態で手前に引くと、ツメが割れる恐れがあります。

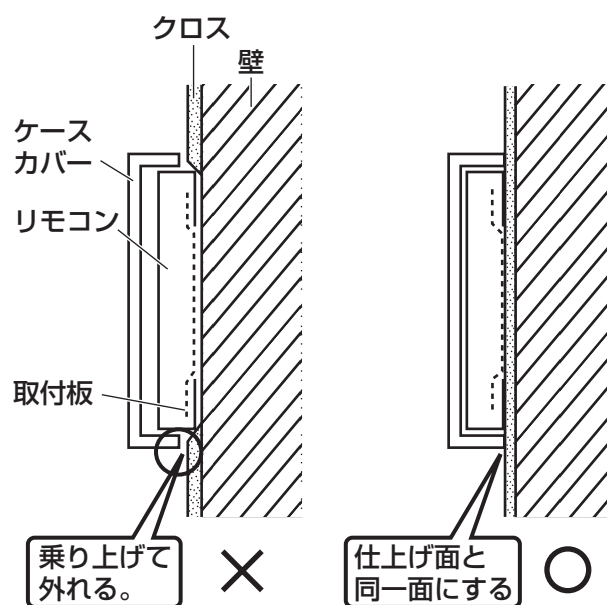


- ③ 小ねじ（2個）で取付板に固定する。
- ※リモコンを壁に確実に固定するため、必ずねじを締めて固定してください。



※取付板が壁の仕上げ面と同一面となるようにしてください。

※壁の化粧クロスが厚い場合、ケースカバーが乗り上げて外れやすくなることがあります。(取付板が壁面より沈み込む程、ねじを強く締め付けないでください。)

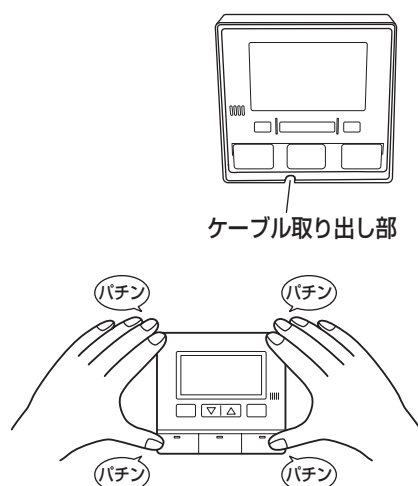


6. ケースカバーを取り付ける

① ケースカバー下部のケーブル取り出し部（ノックアウト）を予めニッパーなどで開け、そこよりケーブル線を取り出す。

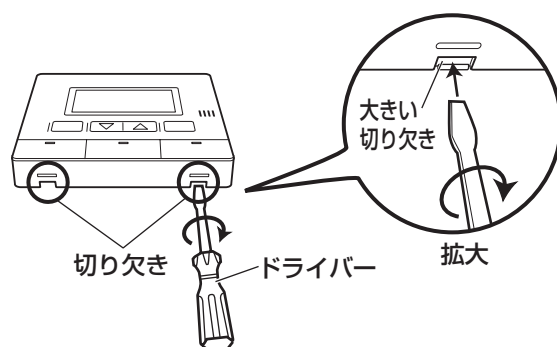
② ケースカバーの四隅を両手で「パチン」と音が出てカバー内面のツメが嵌合するまで押し込む。

※ツメの嵌合が不良だとカバーが外れたりスイッチが重くなる恐れがあります。



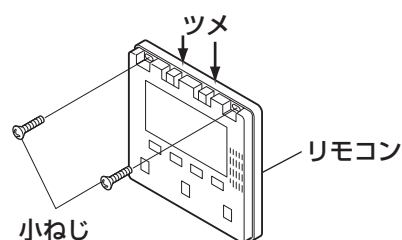
7. ケースカバーを取り外す場合

- ①ドライバーを図のように使用して外してください。その際ケースカバーが壁面を傷つけないように十分に注意してください。



8. リモコン本体を取り外す場合

- ① 小ねじ（小）2本を外す
- ② ツメを下に押し、リモコン本体を手前に引いて外す。



台所・増設リモコンの取付方法

■ ケーブル線埋込配線の場合

【お願い】

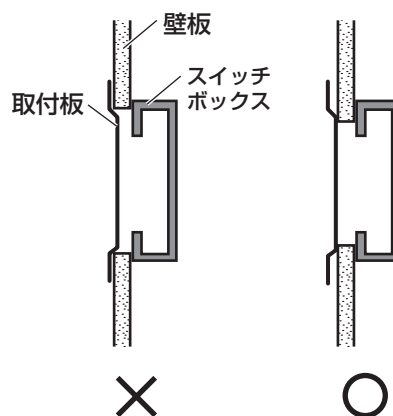
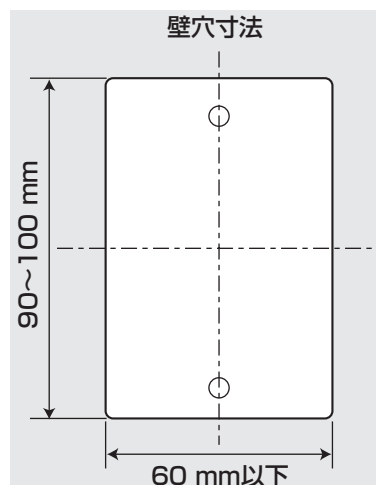
- 必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- ケーブル線は各々の接続部に間違えないように接続してください。
- ケーブル線の総延長が25 m以内になるように配線工事を行ってください。

1. 取付場所を選定する

- ケーブル線露出配線の場合を参照します。

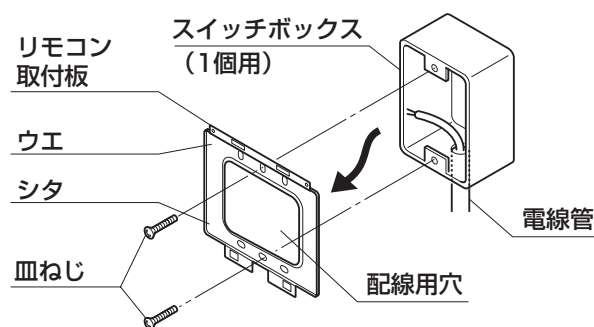
2. スwitchボックスを設置し、壁に穴を開ける

※ 壁に開ける穴の大きさに注意してください。
大きくなり過ぎると取付板が穴に落ち込みリモコン本体・リモコンカバーを取り付けられない場合があります。



3. リモコン取付板をスイッチボックスに固定する

- リモコン取付板をスイッチボックスの取付ねじ穴に合わせ、付属の皿ねじで固定します。
(リモコン取付板の「ウエ」「シタ」を確認)



※ ねじの締め付けに電動ドライバーは使用しないでください。強く締め付けすぎるとリモコン取付板が変形して、リモコンが取り付けられないことがあります。

※ 必ず付属の皿ねじを使用してください。
付属の皿ねじ以外（なべねじ等）を使用すると、内部の電子部品にあたり、故障の原因になります。



4. リモコンよりケースカバーを外す

(9ページの3参照)

5. リモコンにケーブル線を接続する

- ケーブル線は無極性ですので、＋－はありません。
- 端子の接続時に、無理な力を加えて基板に傷をつけないように注意してください。
- Y端子のねじを締めつけ時、Y端子が回転して基板の部品に当たらないよう注意してください。
- 電動ドライバーを使用すると端子のねじ穴が破損するおそれがありますので、使用しないでください。

① ケーブル線の被覆をむきます。

② ケーブル線の先端にリモコンのY端子をカシメ接続します。

③ リモコン裏面の透明なシートの折れ曲った部分を外してY端子をリモコン端子に接続します。

④ シートの折れ曲った部分の切り欠きにケーブル線を入れ、シートの先端を再びシートのスリットに差し込みます。

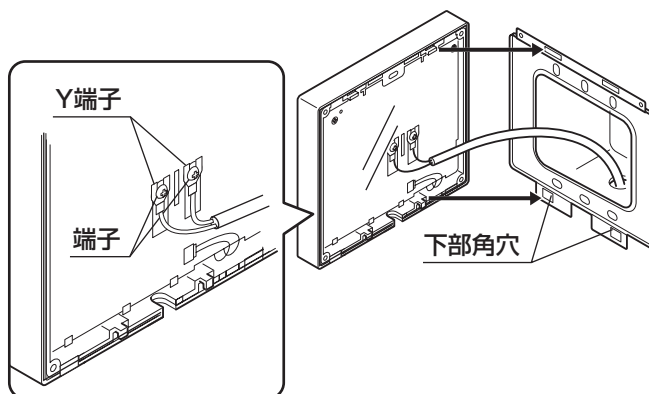
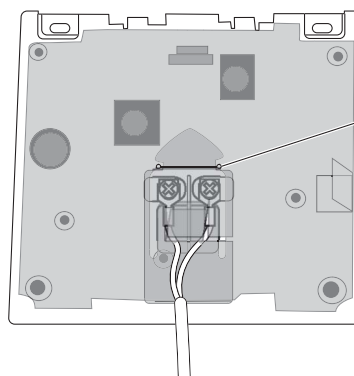
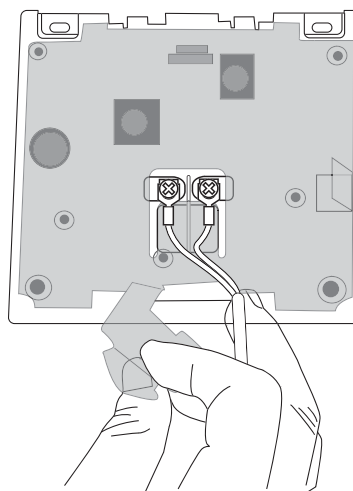
⑤ 余ったケーブル線は壁穴に入れる

※この時、端子部に力がかからないように注意してください。

6. リモコン本体を取り付ける (10ページの5参照)
7. ケースカバーを取り付ける (11ページの6参照)
8. ケースカバーを取り外す場合 (11ページの7参照)
9. リモコン本体を取り外す場合 (11ページの8参照)

■ 工事完了後の確認

- リモコンのケーブル線がかみ込みないか確認します。
- リモコンが確実に固定されているか確認します。



床暖房リモコンの取付方法

【お願い】

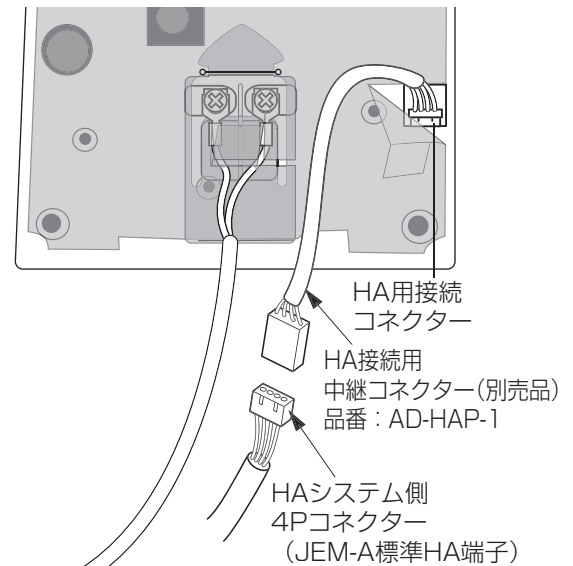
- 必ず電源を切ってから行ってください。
- ケーブル線は各々の接続部に間違えないように接続してください。
- 貯湯タンク側の接続部は、床暖房リモコンと、他のリモコン（台所、浴室、増設）では異なります。
ケーブル線が区別できるように、マーキング等をしてください。
- 2心ケーブル線以外の多心ケーブル線は使用しないでください。
床暖房リモコンと他のリモコンを、同一の多心ケーブル線に接続すると、正常に作動しません。
- 他の工事内容は、台所・増設リモコンの取付方法を参照してください。

HAシステムとの接続をする場合

JEMA標準HA対応機器へ接続する場合

- ① 台所リモコン背面ケースのHA端子カバーを外します。
- ② 別売のHA接続用中継コネクタ（品番：AD-HAP-1）を挿入してください。
- ③ HAシステム側の4PコネクタとHA接続用中継コネクタを接続してください。

※詳しくはHAシステムの説明書をよくお読みのうえ、正しく接続してください。



工事完了後の確認

- (1) リモコンが確実に固定されているか確認する
- (2) リモコン表面に貼っている保護シートをはがす
 - ※保護シートを貼り付けたままにすると、スイッチに保護シートが貼り付いて、スイッチ操作を正常に受け付けない場合があります。
- (3) リモコンの動作確認をする
 - ※電源（ブレーカ）を入れた直後はスイッチ操作を受け付けない場合があるので、電源を入れてから5秒以上待ってスイッチ操作をする。
 - ※一度も試運転していない場合は、試運転モードの表示となります。
- (4) コミュニケーションリモコンの通話確認をする場合は、浴室の扉、窓を閉めて、確認する
 - ※浴室の扉、窓を開けたまま通話確認すると、ハウリングする場合があります。
 - ※浴室の扉、窓を閉めても、ハウリングする場合は、台所リモコンを浴室リモコンから離れた場所に設置してください。台所リモコンを離れた場所に設置できない場合は、通話音量を小さくしてください。

お客様への説明

- ヒートポンプ給湯機本体の取扱説明書によって、「安全上のご注意」「使いかた」をよく説明する。
- ヒートポンプ給湯機本体の取扱説明書にしたがって「アフターサービス」について説明する。

パナソニック電工株式会社
製造元 パナソニック株式会社 エアコンビジネスユニット
〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号
© Panasonic Corporation 2008

F613643
S0605A4078